

宮城 豊選集

MIYAGI SHIZUKA

全17巻



深い教學にもとづき
聞思の姿勢で貫かれた48年の足跡

刊行のことば

宮城顕先生は三年余にわたる療病生活ののち、一〇〇八年十一月二十一日浄土に還帰されました。その後から選集刊行の声があり、驚くほどの早さでそれが実現したのは、ひとえに先生のご教化のすばらしさによるものであります。この選集は一九五七年、先生二十六歳のときの書き下ろし文「浩々洞」（金沢大学暁鳥敏賞受賞）に始まり、一〇〇五年、病床に就く五ヶ月ほど前の講演「汝、起ちて更に衣服を整うべし」（宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌真宗本廟お待ち受け大会の記念講演）に至る四十八年間の講演等の

中から精選したものであります。

先生は日ごろから聞思とは、限りなくわが身に聞き直していくことだとおっしゃっていました。第七巻から十七巻までの聖典講義を「聞記」としたのは、そのご講義が深い教学に基づきながら常に聞思の姿勢で貫かれているからであります。

この稀有の書が、光となつて世の闇を摸し尽くしていくことを願つてやみません。

一〇〇八年六月

宮城顕選集刊行会

推薦のことば

お念佛の真実を口授して下さつた人

作家
高 史明

「蟪蛄春秋を識らず、伊虫あに朱陽の節を知らんや」
『教行信証』の「信卷」に開示されているお言葉である。

宮城顕先生を思うとき、私は何時もこの言葉を思い起す。難しい言葉である。最初に目にしたとき、読み飛ばしたものだった。当然のこと、お念佛の教えの根本に参入できなかつた。宮城顕先生はその私の耳底に、優しく爽やかな声で教えを説き聞かせてくれたのであつた。「蝉は春や秋を知らない。そうであれば、どうしてこの虫が夏を知りえよう」と。

いま思えば、私はお念佛の真実を前にして、夏を知らない蝉のようにその教えに思い悩んでいたのであつた。広い市民会館の中央に独り立つ先生のお聞かせは、実際に懇切であった。

「また何ぞ仮に念の頭数を知ることを須いんや。もし必ず知ることを須いば、また方便あり、必ず口授を須いよ」

宮城顕先生は、まさに私にお念佛の真実を口授して下さつたのであつた。『宮城顕選集』の刊行に際して先生の教えを改めて思い返し、合掌したい。

全巻内容・配本順

第1巻 論集

第一回配本

浩々洞／源信／曇鸞／無上の世界／宗教家とは何か／
師子身中の虫／等活地獄考／「時機純熟」考／眞実の教
／建言我一心／日常性のなかで／その他

第2巻 講座集 I

第二回配本

真宗とは／『觀無量寿經』序文に学ぶ／和讃に学ぶ

第3巻 講座集 II

第三回配本

親鸞の手紙

第4巻 講座集 III

第二回配本

眞の仏弟子／『御文』私見／『御文』三通（末代無智・聖人一流・白骨）／願心莊嚴の世界／今の世にあつて真宗とは

畏敬の友 宮城師の選集刊行を慶ぶ

元九州大谷短期大学長

桑門 豪

第5巻 講演集 I

第四回配本

にしてきました。団菓によくかたときには、しかも御方様にして頂いてくれました。そして「如来の本願」「南無阿弥陀仏」「真の仏弟子」など、挙げればきりがないほどたくさんのお話をいただきました。

彼が逝つてしまつて、ぽつかり心に空洞ができたような淋しさを感じていました
が、選集が刊行されると聞いて、再び友に遇うことができると大いに慶んでいます。
編集にたずさわつてくださる沢山の方のご努力に敬意と感謝を表するとともに、
彼が生涯を尽くして説いてくださった本願念佛の教えが、次の世代の人たちへ大
きな輪となつて広がつていくことを切に願つています。

湧き出してくる深い祈り

宮城さんの一生涯は、たえず、よき師よき友を憶念しながら、浄土往生の道を聞思し続けていく一生涯であつたと想う。

こうして宮城さんは、現代が見失っている眞実の救済の道として、淨土往生の啓蒙に、その身を粉にし骨を碎いて、全国各地を飛び廻り、往生を遂げていかれた。その宮城さんの一生涯から湧き出してくる深い祈りがある。それは、末法濁世といふべき現代を、どこまでも荷負して起つ、大悲の魂の和合衆が、この現代社会のただ中に、建立されていくことを、ひたすら祈る大悲の魂の深い祈りである。

「不惜生命」を覚悟して

「友なり、師なり、仏なり」という言葉があります。藤元正樹兄と宮城顕兄とは私にとつてまさしくそういう人でした。私たち三人が出逢ったのはたまたま昭和二十七年に大谷大学予科へ入学したからですが、この「たまたま」はやがて「遠く宿縁を慶ぶ」べきものとなりました。私たちは予科生徒の間中、宮城家に入りびたつていきました。というのも宮城兄の父君智定氏はことさら人に法を説くことをしない人でしたが、内に秘めた深い宗教性と芸術性は仏者のみならず他の分野の人々をも惹きつけ、私たちは知らず知らずの内にその薫習を受けていました。

大谷大学を出たあと、私がドイツ語習得にうろうろしている間に、彼らは和漢の仏典を読破し真の仏者になつていきました。私の関心はキリスト教という形をとつたヨーロッパの宗教性と仏教乃至真宗という表現となつた日本の宗教性がどう関わるのかという点にあり、折があれば難問をひっさげて一人に教えを請いました。

今回宮城兄の選集が出版される由、まことに喜ばしい限りです。読者諸兄が十分に味読されんことを心から念願します。

元東京大谷専修学院長
宗正元

第7卷 淨土三部經聞記

淨土三部經聞記

第8·9卷 嘆仏偈聞記 本願文聞記

嘆仏偈聞記／本願文聞記

第10・11卷 教行信証聞記 I・II

教行信証題号积／教卷聞記／行卷聞記／信卷聞記／
証卷聞記・真仏土卷聞記

大河內了義

神戸大学名誉教授

第12・13卷 教行信証聞記 III・IV
第14・15卷 浄土文類聚鈔聞記
化身土卷聞記

化身土卷聞記

第14・15卷　淨土文類聚鈔聞記

第八回 配本

第16・17卷　淨土論註聞記　I・II

丁：第九回配本

淨土論註聞記

*半年毎に二冊ずつ刊行します。
*タイトル・内容及び配本順は変更

*半年毎に一冊ずつ刊行します。
*タイトル・内容及び配本順は変更することがあります。

好評刊行中

〈一〇一四年末完結予定〉

特色

- 二十六歳のときの書き下ろし論文「浩々洞」から、病床にふす直前の講演まで、半世紀におよぶ成果の集大成。
- 各年代に亘る多数の論文・講演等をテーマ別に各卷編成。
- 各卷末に「あとがき」を付し、宮城顕先生にまつわる話などを紹介。
- 各卷に、先生の写真や揮毫を載せた口絵を付す。

体裁

▲5判／上製クロス装貼函入／各巻平均四八〇頁

各巻 七、三〇〇円（表示価格は税込5%です）

宮城顕選集 I 論集

宮城顕選集 2 講座集 I

宮城顕選集 3 講座集 II

宮城顕選集 4 講座集 III

宮城顕選集 5 講演集 I

宮城顕選集 6 講演集 II

法藏館

法藏館

法藏館

法藏館

法藏館



法藏館

〒六〇〇一八一五三 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075(343)5656 FAX 075(343)4588

Homepage <http://www.hozokan.co.jp> e-mail info@hozokan.co.jp

2012034000

みや ぎ しづか
宮城顕選集

全17巻

分売も可能です

(取扱書店印)

申込書

第〔 〕巻を〔 〕冊申し込みます

ご住所 〒

お名前

お電話

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

TEL 075-343-5656 FAX 075-371-0458

Homepage <http://www.hozokan.co.jp>

e-mail info@hozokan.co.jp